

市報を声でお届け 「音訳とわの会」利用者との交流会を終えて

「佐渡市音訳とわの会」は目のこ不便な方に、毎月「市報さど」を音声訳し、お届けしているボランティア団体です。会員は現在18名で、平成8年の結成から春日にある両津総合福祉センター「しゃくなげ」を拠点に活動しています。

「とわの会」では去る7月13日(木)、「しゃくなげ」を会場にテープ利用者との交流会を開催しました。当日は両津・金井・佐和田・相川・畑野・羽茂から11名の利用者が参加してくださいました。お互い初対面の方も多く、やや緊張気味なスタートを心配しましたが、程なく打ち解け、笑い声や拍手が絶えず終始なごやかな交流会となりました。



全員が自己紹介をし、利用者からは「いつも楽しみに待っている」「テープのおかげで市報の内容もわかり、やっと市民になれた気がした。みなさんの努力が手に取るようにわかり、本当にありがたい」「上



手になつていますよ」など楽しい言葉もあふれ、喜んでもらっている様子に、ボランティアをしてきてよかったと思われました。また、意見交換では、

渡のアクセントに自信をもって、「図表の説明はわかりにくい。要点だけではないのでは」「次の大きな項目に移るときは、5秒くらいの間をあけて」などの要望も出されました。これからのテープづくりに大変参考になり、まだまだ配慮が足りないことに気づきました。

交流会でお互いをよく知り、新たな信頼関係も生まれたと思います。「市民の一員になれた」との声を重く受けとめ、これからも利用者の顔を思い浮かべながら、少しでもわかりやすいテープをお届けしたいと会員一同、心に誓った日となりました。

「音訳とわの会」では、会員を募集しています。一緒に活動してみませんか？
「音訳とわの会」会長 山田智子

佐渡市スクールガード・リーダーが活動中！



学校や通学路等で子どもたちが被害者となる事件が多発している近年の状況を踏まえ佐渡市教育委員会では、子どもたちが安心して教育が受けられるよう、安全で安心できる学校づくりを目的として、佐渡市スクールガード・リーダーを市内小学校に配置しました。

スクールガード・リーダーは、学校の施設や通学路等を定期的に巡視・点検します。

氏名	担当校（児童数：5月1日現在）
鍵谷 穎夫	内海府小学校（24）
岩原 春三	浦川小学校（15） 馬首小学校（7）
土屋 継彦	加茂小学校（236） 両津小学校（268） 両津吉井小学校（65）
正治 健二	河崎小学校（102） 両尾小学校（62）
白木 忠雄	片野尾小学校（16） 野浦小学校（9）
下坂 正夫	岩首小学校（7） 松ヶ崎小学校（21）
井上 幸夫	高千小学校（60）
古藤 弘巳	金泉小学校（67） 相川小学校（137） 七浦小学校（67）
本間 耕佐久	沢根小学校（80） 河原田小学校（189） 八幡小学校（98） 二宮小学校（214）
本間 金左工門	金井小学校（310） 金井吉井小学校（88）
磯部 松治	新穂小学校（122） 行谷小学校（81）
高橋 憲一	畑野小学校（149） 後山小学校（71） 小倉小学校（17）
白木 眞一	真野小学校（249） 西三川小学校（28） （笹川分校）（7）
中川 孝一	小木小学校（136） 深浦小学校（35）
北嶋 律子	羽茂小学校（125） 大滝小学校（18） 小村小学校（26）
石塚 猛	赤泊小学校（119） 川茂小学校（21）

品目横断的経営安定対策の 相談窓口を設置しています

平成19年度から始まる品目横断的経営安定対策は、農業従事者の減少や、高齢化等が進み今後の地域農業が危ぶまれる中で、これまで全ての農業者を一律に対象として、個々の品目別に講じられてきた施策を見直し、やる気と能力のある担い手を対象とした施策に転換するものです。詳しくはお問い合わせください。

相談窓口

制度の内容や加入要件の確認、認定農業者の認定や集落営農組織・法人の設立など、この対策に関するご質問にお答えします。ご利用ください。

窓口設置期間 休日や閉庁日などを除き、
平成19年3月15日まで

開設場所

- ・佐渡農業協同組合（国仲営農センター、両津（河崎）営農センター、相川営農センター、小木営農センター、赤泊営農センター、畑野グリーンセンター、真野グリーンセンター、佐和田グリーンセンター、金井グリーンセンター、加茂営業所）
- ・羽茂農業協同組合
- ・佐渡農業共済組合
- ・佐渡地域振興局農林水産振興部（農政庁舎、羽茂分室）
- ・佐渡市農業委員会
- ・市役所農業振興課 および各支所産業振興課

品目横断的経営安定対策

対策の対象者

認定農業者

経営規模 4ha以上

適一定の条件を備える集落営農組織

経営規模20ha以上

経営規模に満たない方でも、いくつか特例が設けられており、対象となる場合があります。

支援の内容

2種類の補てんが受けられます。

適生産条件不利補正対策(対象品目 麦・大豆・てん菜・でんぷん原料用ばれいしょ).....担い手の生産コストのうち、販売収入ではまかなえない諸外国との生産条件に関する不利を補います。

適収入減少影響緩和対策(対象品目 米・麦・大豆・てん菜・でんぷん原料用ばれいしょ).....販売収入の減少が、経営に及ぼす影響を緩和する対策です。

エコファーマーになろう！

～持続性の高い農業生産方式の導入を目指して～

エコファーマーとは.....？

農業者自らが「土づくり技術」、「化学肥料低減技術」、「化学合成農薬低減技術」を一体的に取り組む計画(持続性の高い農業生産方式の導入に関する計画)が県で定める「持続性の高い農業生産方式の導入に関する指針」に適合する場合、知事はその農業者を環境保全型農業を実践する農業者として認定します。この認定者を「エコファーマー」と呼んでいます。

エコファーマーになると.....？

エコファーマーになると、「エコファーマーマーク」が使用でき、環境に優しい農業を実践していることがPRできます。産地ぐるみで認定を受け、エコファーマーマークを活用して産地をPRしましょう。(産地全員がエコファーマーである限り、産地名や出荷組合名の表示ができます)



地域間交流推進のため、佐渡市も応援しています。

高速船あいびすで行こう!!

赤泊から寺泊まで片道65分。
寺泊水族館や魚の市場通り、弥彦神社を巡る日帰りツアーから、牛の角突き観戦と蓬平温泉宿泊コースなど、ちょっとお出かけしてみませんか?



(高速船あいびす片道65分)

佐渡市 長岡市 赤泊港 ↔ 寺泊港 蓬平 寺泊

高速船往復
昼食
日帰り入浴施設
利用券
(2枚利用)

コースNo.
707
-80

あいびすで行く寺泊日帰りパック あいびすパック

大人お1人様 5,800円
小人お1人様 3,800円

出発日 平成18年
9月30日 まで

先着
1,000名様に
寺泊水族博物館
入館券つき!

コースNo.
706
-80

あいびすで行く夏休み特選日帰りツアー

日帰り 大人 7,900円 小人 5,900円

出発場所 / 佐渡汽船赤泊港 出発時刻 / 6:50 設定人員 / 44名

出発日 / 8月 25日、26日

旅行日程

佐渡各地 赤泊港 寺泊港 高龍神社(商売繁盛の神様:参拝)
6:50 7:55
岩塚製菓(ショッピング) 寺泊水族館(見学) 寺泊:魚の市場通り(昼食)
SOWA美術館(トリックアート美術館見学) 弥彦神社(参拝)
ストックバスター(キッチン用品・アウトドア用品の激安ショップ)
寺泊港 赤泊港 佐渡各地
17:30 18:35

朝食は各自でご用意下さい。
赤泊発の高速船が欠航時はツアー中止となります。
寺泊発17:30の高速船が欠航の場合は復路、新潟発カーフェリー利用となります。

事業企画
佐渡観光協会・
新潟交通・佐渡汽船
お問い合わせ
新潟交通佐渡(株)
くれよん佐渡
TEL 57-1116
両津観光案内所
TEL 27-5164
相川観光案内所
TEL 74-3131
小木営業所
TEL 86-3130

コースNo.
709
-81

牛の角突きと長岡の奥座敷蓬平温泉

1泊2日 大人 28,980円~30,980円

出発日 / 9月 17日

旅行代金 /	9月17日 跳
4~5名様	28,980円
3名様	29,980円
2名様	30,980円



牛の角突き



高龍神社

旅行日程 / 1日目

佐渡各地 赤泊港 寺泊港 山本五十六記念館(見学)
6:50 7:55
新潟県立歴史博物館(見学) 小千谷(昼食) 越後・牛の角突き(見学)
蓬平温泉(泊)

旅行日程 / 2日目

ホテル 高龍神社(商売繁盛の神様:参拝) 岩塚製菓(ショッピング)
8:30
寺泊水族博物館 寺泊:魚の市場通り(昼食・ショッピング)
寺泊港 赤泊港 佐渡各地
13:00 14:05

荒天で高速船が欠航した場合は両津航路カーフェリー利用のコースにて催行致します。

ご宿泊先

9/17 福引屋(和室または洋室)
和泉屋(和室または洋室)

牛の角突き 会場 9/17 跳 山古志:池谷闘牛場

9/17山古志、池谷闘牛場は会場の復旧状況により長岡臨時闘牛場に変更になる可能性があります。
闘牛は雨天決行、会場での観覧席は屋根がありませんので日よけ、雨具等は予め用意願います。
9/17は1日目昼食は闘牛会場での弁当昼食となります。
小人の旅行代金は大人の旅行代金の4,000円引きとなります。

トキ 野生復帰にむけて

21

自然再生の川づくり

1. 川の果たす役割

かつて、佐渡島の空を舞っていた野生のトキは、営巣地として森林の高木、ねぐらとして山間の樹林地や平地から山ろくの社寺林等を利用し、近接する水田、湿地、沼地、そして川をえさ場にドジョウ、小魚、昆虫等を食べていました。こうしたトキの生活のなかで、川は、直接的には水田や湿地同様にえさ場としての役割がありますが、もう少し広い視点で考えてみると、トキのえさとなる水中生物を育む環境を川は担っています。水中生物にとって、川は、生活の場、産卵の場、移動する経路として利用されています。さらに、川は、水田や湿地などのえさ場に対して水路網を形成し、水を供給する重要な役割も担っています。このように川の果たす役割は広範囲にわたり、トキ以外の様々な生物、そして私たちの暮らしにも大きな影響を及ぼしています。

2. 失われた自然の川

島内の川は、概ね昭和40年代から洪水などの災害から人家等を守るため、川の直線化、護岸のコンクリート化、せきの設置等の工事が本格化しました。これらの工事により治水上の安全度は向上しましたが、一方で、トキのえさ場となる川の湿地や浅場の減少、また、トキのえさ生物の棲みかとなる川の多様な環境の喪失や、設置されたせき等によりえさ生物の移動が困難になったことから、川の生物も減少しました。また、農地整備と連動しながら、樋管や樋門の設置も進み、川と水田・水路との自然な繋がりが連続性も失われてきました。

このような川をめぐる環境の変化により、今では、トキのえさ場としての役割、トキのえさ生物を育む環境を担う役割などが川から失われてきています。

3. 自然再生の川づくり

県では関係機関や地域の方々との連携のもと、トキの野生復帰に向け

川の自然再生のイメージ(川の落差の緩和)



現況



整備後のイメージ

て川の自然再生に取り組んでいます。今年7月に、「野生のトキが佐渡島の大空を舞っていた昭和30年頃の河川の多様な自然の再生・創出」を目標に掲げ、川の果たす役割と今後の対応方針、整備の進め方などを自然再生計画書にとりまとめました。たとえば、治水上の一定の安全性を確保しながら、単調なコンクリート護岸から川底や川岸の再自然化、川の下流部やダム湖付近での湿地の創出・保全、そして魚や水中生物が移動しやすいように川の落差の緩和などが計画されています。

今年度から、県では国府川や天王川などを対象に順次、自然再生の事業に着手する予定です。事業の実施にあたっては、事業効果の確認、維持・管理を地域の皆さんと一緒に実施することにより、地域の継続的かつ意欲的な取組みが可能となるように進めていきたいと考えています。今後川づくりに対するご理解とご協力をよろしくお願いします。

新潟県佐渡地域振興局

地域整備部計画調整課

市役所環境課

トキ推進室(新穂支所内)

専22 3119



放置自動車の撤去にご協力ください

佐渡市では「環境の島・エコアイランド」の実現に向けて取り組んでいますが、現状は山間地や平野部での空き地に数多くの放置自動車があります。

車として乗ることもできず、利用価値がなくなった放置自動車は、「環境と観光の島佐渡」のイメージダウンになるばかりでなく、車からの錆やオイル漏れなどにより環境への悪影響が心配されます。

佐渡市では、公有地を中心に撤去を進めておりますが、個人の所有地に



においても必要のない自動車や農機具・作業建設機械などを長期にわたり放置していると不法投棄となりますので、所有者は自己の責任において撤去するようお願いします。

不法投棄は法律で禁止されており、違反した場合は処罰されます。

市役所 廃棄物対策課 TEL 63-5140

不法投棄を撲滅しましょう

～不法投棄を見つけたら、不法投棄ホットラインへ～
新潟県では産業廃棄物の不法投棄の撲滅を目指すため、県庁内に不法投棄ホットラインを設置しています。

不法投棄ホットライン(FAXも同じ番号)
0120-381-790(サンパイなく(そ)あー)

なお、産業廃棄物を不法投棄した者が特定されるなど有力な情報提供者には報奨金を差し上げます。

こちらは消費者協会です

新潟県消費者協会のあり方と支部活動

小木支部 山本初子

県の消費者協会では、毎年、活動の重点を定めテーマとして昨年に続き「確かな情報、賢い選択」と題し「～安全、安心な生活のために行動しよう!～」ということで、各支部がそれぞれの地域に合った活動を行なっています。

今の社会、一般企業でも行政でも消費者のニーズに合ったものや事柄等を重視する傾向がみられ、それに伴い、私達の活動や意見等が少しずつ認められるようになったのかなど認識しております。

また、今、NPO法人にして、より広く活発な活動をするために、11月の設立に向け準備会を設置し、取り組んでいるところであります。

県下29支部で支部長がある度に、会員の高齢化が進み、活動が思うようにできないと言う支部がほとんどであ

ります。

私達の小木支部でも、一人が幾つもの組織や団体に加入しているため、活動に参加する人が少ないのですが、出られる人が活動に参加していただければ良い、というふうにわりと気楽に考えています。消費者協会の柱となっている環境問題への取り組みについては、ゴミ減量化に伴うマイバック運動の推進や、食の安全性から食育に関することについては、小さい時から取り組むことが必要かと思ひ、子供会活動の中で学ぶことを取り入れていただいています。

やはりこれからの情報社会では、県の活動テーマであります「たしかな情報、かしこい選択」をモットーに、日々かしこい消費者になれるよう頑張っていこうではありませんか。

深浦マイバックペイント

7月15日(土)に深浦地区を会場として開催されたマイバックペイント事業と、昨年の総合学習の時間を利用して考えた図案「深浦をイメージした横断幕」を、長岡造形大学の指導を受け、深浦小学校6年生と卒業生の中学1年生で作成しました。

翌日、防波堤に展示する予定となっておりましたが、荒天のため断念し、秋の深浦小学校の文化祭に展示されることになりました。なお、横断幕は深浦集落のイベントなどに、駐車場を利用して随時展示されます。



子供たちの夢や希望が描かれた「オリジナルマイバック」をご覧いただき、地域のみなさんが、買い物の際に「オリジナルマイバック」を持参する運動の輪が広がってほしいと感じました。

